

平成25年度 年度計画の主な内容

公立大学法人名古屋市立大学

教育

- (1) 学生が履修計画を設定する上で参考となるよう、すべての教養教育科目を第二期中期目標に掲げる「持続可能な共生社会」等の課題を学ぶ関連科目群として整理・設定し、学生に提示〔3〕
- (2) 高校での未履修科目及び入学試験での非選択科目についてリメディアル（補習）教育を実施〔5〕
- (3) 日本語コミュニケーション能力の向上に資する科目を開講〔6〕
- (4) 英語力調査（TOEIC IP 試験）結果を応用英語の習熟度別クラス編成に活用〔7〕
- (5) （医学部）医学教育機関認証制度*に準拠した新カリキュラムを平成28年度の実施に向けて策定〔16〕
※平成35年のECFMG新制度に対応すべく、導入が予定されている国際標準の医学部認証制度であり、平成28年度までに全ての参加表明校が認証完了予定
- (6) （経済学部）日本税理士会連合会の寄附講座を受け入れ、実務経験者による実践的教育を拡充〔19〕
- (7) （人文社会学部）ESD（持続可能な地域社会と地球社会をつくる教育）を軸に再編成した新たな学部教育体制をスタート〔21〕
- (8) （芸術工学部・芸術工学研究科）社会情勢に即した教育・研究を実施するために情報・通信工学分野の教員を補充し、再編後の3学科・3領域体制の教育研究指導、カリキュラムを実施〔22〕
- (9) （薬学研究科）名古屋工業大学との共同大学院ナノメディシン科学専攻を設置〔28〕
- (10) （看護学研究科）専門看護師教育コース精神看護学分野を認定申請〔39〕
- (11) （システム自然科学研究科）教育の幅を広げ指導體制の柔軟性を高めるため、研究領域が近い複数の教員で構成するユニットを増やし、大学院生を指導〔40〕
- (12) 研究授業（教員相互の授業参観）を実施〔47〕

研究

- (1) 医・薬・看の共同研究などの学内外・国内外との共同研究を実施するとともに、「最先端・次世代研究開発支援プロジェクト」および「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を継続的に実施〔54〕
- (2) （薬学研究科）文部科学省及び厚生労働省に採択された事業を中心に創薬生命科学、臨床薬学、レギュラトリーサイエンス*及び医薬品の安全性評価についての研究を推進〔58〕
※ 医薬品の品質や有効性・安全性などを予測、評価、判断するための科学
- (3) （システム自然科学研究科）生物多様性研究センターにおいてDNAバーコード用試料の収集と分析を引き続き実施〔65〕

社会貢献等

- (1) 地域貢献を全学的に推進していくセンターの設立準備を実施〔72〕
- (2) 教員のまちづくり活動等を把握、データベース化し、地域社会のニーズとのマッチングを推進〔73〕
- (3) 大学の国際化を一層推進するため「国際交流センター」を設置し、留学希望者への支援、交換留学生との交流等を実施〔78〕

附属病院

- (1) 年々増加するがん患者に対応するため、東棟の放射線治療の診療枠を拡大〔82〕
- (2) MFICU(母体・胎児集中治療管理室)を設置〔84〕
- (3) 新たな基準での病院機能評価を受審〔100〕

業務運営等

- (1) 事務局組織を改編し、教育研究支援体制をはじめとする職員体制を整備〔103, 104〕
- (2) 改正後の教員業績評価制度の定着を図り、全学的に統一した方法により処遇等へ反映〔108〕
- (3) 卒業生等を構成員とする「名古屋市立大学交流会」を通じて、大学の情報提供等の事業を行い、会員との連携を推進〔115〕
- (4) 田辺通キャンパスの薬学部校舎等の改築工事において既存の本館、厚生会館及び総合情報センター田辺通分館の取壊し工事及び駐車場整備工事を完了するとともに、滝子キャンパス、北千種キャンパスの耐震改修工事を完了〔127, 128〕
- (5) 研究不正の再発防止に向け、説明会等を実施〔142〕

平成 25 年度予算

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	6,501
自己収入	25,943
授業料及び入学金検定料収入	2,515
附属病院収入	22,463
雑収入	965
施設整備費補助金	471
受託研究収入等	1,753
目的積立金取崩等	489
計	35,157
支出	
業務費	31,655
教育研究経費	2,032
診療経費	13,402
人件費	16,221
一般管理費	491
施設整備費	1,258
受託研究費等	1,753
計	35,157